

2020 年を振り返るー新型コロナ感染については、次号で述べます

良かったこと I 米国の大統領が変わったこと (11 月 3 日)

米国の大統領選挙で、トランプが破れて、バイデンが当選しました。アメリカ・ファースト (自分さえよければ他はどうなってもよい) が退潮して、米国は国際協調へ方向転換することを期待します (パリ協定・WHO (世界保健機関)・イラン核合意協定への復帰等)。アメリカ・ファーストの退潮は、同じ政治理念を持つ都議会の都民ファーストの会にも影響を与えていると思います。

良かったこと II 大阪都構想の住民投票が否決されたこと (11 月 1 日)

吉村大阪府知事はコロナで毎日マスコミに露出する。②「都構想は百害あって一利無し」と言って前回は反対だった公明党が賛成に回ったこと (賛成する代わりに、衆議院選挙で公明党現職の選挙区に維新は候補者を立てないという密約) によって、住民投票が始まった時には、誰もが可決されると思っていました。しかし、否決されたのです。最大の要因は、市民が学習をして、反対の立場に立ったことです。また、実際に維新によって都構想が先取りされて、市民病院や保健所が統廃合されて、大阪の医療従事者や保健所職員は削減されてきました。また、コロナの第三波の時に、何で今住民投票なのかという疑問が出されました。このようなことによって、第三波で大阪が医療崩壊寸前までになったのです。

悪かったこと I 中国による香港の市民の弾圧が強まる

1997 年 7 月 1 日に英国から中国に香港が返還された時の協定によって、1 国 2 制度によって、50 年間は香港の自治が保証されました。当時の鄧小平は、「中国共産党を批判する以外は、香港市民の自由は保障する」と述べていました。しかし、「香港国家安全維持法」が 6 月に施行されて、中国が直接に市民の自治や自由を抑え込むことになりました。“香港加油 (がんばれ)”

悪かったこと II 安倍首相から菅首相に代わって、新自由主義の政治が継続される

菅首相は、新自由主義、自己責任、自助・共助・公助を主張します。また、今までも自分の意見に従わない官僚は、容赦なく左遷更迭してきました。日本学術会議の委員の任命拒否も、菅首相の意思です。原稿やメモを棒読みするだけで、自分の言葉で国民に語るができない、このような人に私達の生命や財産を委ねてもよいのだろうか。

私事ですが 福島県東日本大震災・原子力災害伝承館の語り部にデビュー

9 月 20 日に双葉町に、福島県東日本大震災・原子力災害伝承館がオープンしました。これは岩手県陸前高田市の津波伝承館に次いで 2 番目です。私は、29 人いる語り部の一人として、月 2~3 回、語り部をしています。語り部の内容は、3・11 の時の東京の出来事や東京電力の福島での発電について、30 分ぐらい話をしています。聞いた人から最後に拍手されるのはうれしいですが、途中で出ていく人がいると落ち込みます。



【2021年に向かって一夜ノ森の桜並木のイルミネーション（富岡町）】



【福島県伝承館の語り部デビュー（フェイスシールドをして）】

◇今年も年賀状は、割愛させていただきます。「双葉通信 新年号」で会いましょう。

（住所）福島県双葉郡檜葉町

（メールアドレス）p-mia08@outlook.jp